

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	入間市地域福祉計画進行管理委員会
開 催 日 時	平成31年1月16日(水) 午前10時 開会 ・ 午前11時40分 閉会
開 催 場 所	入間市役所B棟4階 大会議室
議 長 氏 名	栗原正明
出席委員(者)氏名	山下恵久子 齋藤勝久 臼井 秀 白水 翠 下里隆子 宮岡幸江 諏訪結花 平林佳代子 栗原正明 伊藤祐一 橋本康夫 青木和男 伊藤 翔 渡辺雅智
欠席委員(者)氏名	橋本清美
説明者の職氏名	福祉総務課 課長 小久保安浩、主幹 浅見孝之、主任 松本幸文
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 議事録署名人の選出について 4 議 題 (1) 第1編及び第2編第1章～3章について(公開) (2) その他(公開) 5 閉 会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・第3次入間市地域福祉計画(原案)
事務局職員職氏名	福祉総務課 課長 小久保安浩、主幹 浅見孝之、主任 松本幸文
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

議 題

(1) 第1編及び第2編第1章～3章について

- ・第3次入間市地域福祉計画第1編及び第2編第1章～3章について、事務局が作成した原案を提示し、説明した。主な改正点を項目毎に説明し、その後各委員から意見聴取した。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)
事務局	第5回会議の議事録署名人は、名簿順に従い、臼井委員とされた。 (議題(1)第1編及び第2編第1章～3章について)
栗原委員長	事務局の説明に対するご意見、ご質問など何か有りますでしょうか。
青木委員	16ページの「近隣助け合い活動推進組織」と「地区社協」の注釈がありますが、内容を見ると2つの組織は同じものとして考えて良いのでしょうか。
事務局	入間市には「地区社協」がないため、その役割を「近隣助け合い活動推進組織」が担っていると考えています。
臼井委員	二つの組織は同じものではないと思います。「近隣助け合い活動推進組織」が「地区社協」のバックアップをするという話は社協から聞いていません。また、地区によって「近隣助け合い活動推進組織」の活動の内容にかなり差があります。
伊藤(祐)委員	私も同意見です。「近隣助け合い活動推進組織」の活動をしている方は「地区社協」としての認識はありません。
栗原委員長	「地区社協」という言葉が出てくる前に入間市では「近隣助け合い活動推進組織」を組織しています。今から名称変更するのも難しいと思います。 「地区社協」の機能も公共施設マネジメント事業計画でいう地区センターに入るのでしょうか。

発 言 者	発 言 内 容
宮岡委員	市としては「地区社協」を立ち上げていく考えがあるのでしょうか。「地区社協」が必要であれば計画にも記載していく必要があると思いますが。
事務局	類似した組織が複数存在していても混乱を招くため、新しく「地区社協」を立ち上げる考えはありません。
齋藤委員	馴染みのない名前を計画に記載すると混乱を招くと思います。「地区社協」は計画に載せない方が良いのではないのでしょうか。
平林委員	現状で入間市に「地区社協」がなく、今後も設置する予定がなければ計画にはあえて載せる必要はないと思います。
栗原委員長	意見をまとめますと、「地区社協」を計画に載せると混乱する可能性があることから、計画からは「地区社協」の言葉を削除することでお願いしたいと思います。
伊藤（祐）委員	冒頭で「自助」、「互助」、「共助」、「公助」の4つの「助」について述べていますが、10ページの「第2次元気ないま福祉プラン体系図」の計画の方向性には「共助」が出てきません。どこかに説明を入れた方が良いでしょう。
事務局	「共助」については、年金や社会保険制度など、国において制度化されたサービスのことでありますので、地域福祉計画の方向性の中には記載していません。
下里委員	読み手としては「共助」の記載がないことに違和感があると思いますの

発 言 者	発 言 内 容
事務局	で、体系図の欄外に計画の方向性に記載しない理由を加えてはどうでしょうか。
事務局	欄外に理由を加えていきます。
下里委員	9 ページの下に写真があり、「狭山茶畑」という題名ですが、「〇〇から望む入間の茶畑」といった題名の方が良いのではないのでしょうか。
事務局	題名については検討し、修正します。
伊藤（祐）委員	9 ページの上段に理念と目標があり、理念が1行、目標が2行になっているためバランスが悪く見えるので修正してはどうでしょうか。
事務局	バランスを見て修正します。
臼井委員	25 ページの「支援を必要とする人を支える仕組みづくり」の「これからは」のところで、罪を犯した方を社会的に孤立させない地域づくりとありますが、実施するにはハードルが高いのではないのでしょうか。
事務局	平成28年度に「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行されたことから、市町村にも再犯防止に関する計画を定めるよう努めることとされています。罪を犯した方が、再び罪を犯さない社会にするため、計画に記載しています。
栗原委員長	再犯防止については記載していくことに賛成です。周りのサポートが受けられず、孤立してしまい、望まない罪を犯すといったことが起きない社会にしていくべきだと思います。

発 言 者	発 言 内 容
白水委員	支える側に保護司も記載してはどうでしょうか。
事務局	記載します。
伊藤（祐）委員	<p>44ページの「地域に存在する資源の横断的連携強化」の「市民は」の最終行で、「地域が持っている潜在的能力を引き出していく必要があります。」とありますが、市民よりも行政が行う内容に読み取れますので表現を変えてはどうでしょうか。</p> <p>また、「行政は」のところでは行政内の各部・各課の連携の必要性が記載されていますが、何か具体的な例を入れてはどうでしょうか。</p>
事務局	「市民は」のところでは表現を修正し、「行政は」では具体例を検討し、記載します。
栗原委員長	他に意見は有りますでしょうか。特になければ、これで議題は全て終了となりますので、議長の役を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成31年2月4日

議長の署名 _____ 栗原正明 _____

議長が指名した者の署名 _____ 臼井 秀 _____